

1. 議 事 日 程 (6 日 目)

(令和2年那智勝浦町議会第1回定例会)

令和2年3月19日

9時30分 開 議

於 議 場

日程第1 一般質問

2番 東 信 介…………… 288

1. 防災について
(地震・津波の対策と検証など)
2. 観光について
(本質と現状など)
3. 危機管理について
(新型コロナウイルスなど)

2. 出席議員は次のとおりである。(12名)

1番 城本和男	2番 東 信 介
3番 曾根和仁	4番 荒尾典男
5番 藤社和美	6番 金嶋弘幸
7番 引地稔治	8番 左近 誠
9番 加藤康高	10番 中岩和子
11番 森本隆夫	12番 亀井二三男

3. 欠席、遅参、離席及び早退議員は次のとおりである。

4番 荒尾典男 離席 9時30分～9時52分

4. 地方自治法第121条第1項により説明のため出席した者の職氏名(16名)

町 長 堀 順一郎	副 町 長 矢 熊 義 人
教 育 長 岡 田 秀 洋	消 防 長 湯 川 辰 也
総 務 課 長 塩 崎 圭 祐	教 育 次 長 寺 本 尚 史
会 計 管 理 者 西 眞 宏	病 院 事 務 長 下 康 之
税 務 課 長 三 隅 祐 治	住 民 課 長 田 中 逸 雄
福 祉 課 長 榎 本 直 子	観 光 企 画 課 長 吉 田 明 弘
農 林 水 産 課 長 在 仲 靖 二	建 設 課 長 楠 本 定
水 道 課 長 村 上 茂	総 務 課 副 課 長 仲 紀 彦

5. 職務のため議場に参加した事務局職員の職氏名(3名)

事 務 局 長 網 野 宏 行
事 務 局 主 任 青 木 徳 之
事 務 局 副 主 査 北 郡 克 至

~~~~~ ○ ~~~~~

〔8番左近 誠議長席に着く〕

○副議長（左近 誠君） おはようございます。

再開に先立ち傍聴者の皆様をお願いいたします。傍聴に際しては、お手元の傍聴券に記載しております傍聴人規則を遵守し、議事の円滑な進行に御協力いただきますようお願いいたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

9時30分 開議

○副議長（左近 誠君） ただいまから再開します。

本日の会議を開きます。

本日の日程は、お手元に配付のとおりです。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第1 一般質問

○副議長（左近 誠君） 日程第1、一般質問を行います。

昨日に引き続き、通告順に従って、2番東議員の一般質問を許可します。

2番東君。

○2番（東 信介君） それでは、私の一般質問をさせていただきます。

通告の中で順番を入れかえてさせていただきたいと思います。防災と観光と危機管理についてという中で観光を先にさせていただきます。

いろいろ当初予算を聞いたりしてて、観光って何やらなあと思って、観光施策って何かなあと思ってちょっと心配してあるんですけど。当初の観光予算も、DMOも、予算説明や聞いてると、観光客をふやせば観光が成り立つとか、宿泊の数が観光のバロメーターみたいな、一番はかりやすいものやというのはわかりますけど、観光客がふえたら、宿泊客ですか、ふえたら観光施策は成功みたいな感じで、どうもそういうふうな感じで聞き取れてしょうがないんですよね。今回の新型コロナウイルスの影響は、私も商売してるのでよくわかりますけど、宿泊者数をふやして宿泊業を助けるとまでは言いませんけど、これまで国もインバウンドの推奨とか、県も観光を表に立てて宣伝してるような感じで、メディアでも、テレビや新聞でも、コロナのために観光施策ですか、いろんなことを書かれて、こういうこともやるんじゃないとか、こういうこともやっていきますとかということで。多分、これからもかなりの観光対策という、施策というんですか、前面にしっかりと出てくると思うんですけど。全てが観光客をふやすような感じで聞き取れてしょうがないというんか。例えば宿泊施設の部屋が埋まり満館になったらそれでええんかなあと思って、それで勝浦のにぎわいは戻ってきたと言えるんかいなあと思って、いつもメディアを見て思うんですよね。私は、町外から来られるお客さんが町なかでしっかりお金を使って、そういう仕組みが必要ちゃうかなあと思うんですよね。観光対策、観光施策というのは、観光業者に対策を打つというんですけど、私はおもてなしの気持ちのある業者というのは観光業者と思うんですよね。多分、国や、県や、そういう施策が出てきて、町に

こういう関係のことをしなさいて言うて出てくると思うんですけど、宿泊者数をふやすだけやったら、私が多分宿泊施設の経営者やったら絶対困り込みしますよね。それはコロナで損失が出た分、それを補填しに行きます。それは悪いことやないですよ。従業員さんの生活保障するのは経営者なんで、これは悪いとは言えんと思いますけど。そういう結果になりやすいんじゃないかなあと思うんですよ。ですから、新型コロナ関連の観光対策、施策というんですか、これは町なかにもしっかりとお金が回るように、以前堀町長も言われてましたが、観光というのは今光を見せるようなこと、光に例えて言われてましたが、僕もそのとおりやと思います。宿泊施設だけ光り輝いて、町なかは真っ暗やったということはないように、そういう施策に対してしっかりと町なかにお金が回るような施策にしていきたいんですけど、その辺はいかがですか。

○副議長（左近 誠君） 町長堀君。

○町長（堀 順一郎君） 町なかへの経済波及効果ということで、新型コロナの対策とは別に、観光のあり方というようなことが前段あったかと思います。私は、光を見るってことじゃなくて幸せを見るという、その地域が幸せじゃないと来た方も幸せになれませんということで、観光の光は幸せという字を使って、時々使ってらっしゃる方もいます。そういう考えでおります。

町なかのにぎわいにおきましても、宿泊宿泊ばかりでないかとおっしゃいますけれども、やっぱり勝浦は魅力があって来たいという方、たくさんの方お越しいただきたいと思ってます。もちろん日帰り客でもいいんですが、一つバロメーターとしてわかりやすい数字が宿泊客。日帰り客というのはなかなかつかみ切れませんので、そういう意味で宿泊客をバロメーターとして、何人から何人までを目標にしたいということ。日帰り客も、それはそうなんですが、カウントするところがなかなか難しいというようなことがあるもんですから、宿泊というようなことを特に感じられるかもしれませんけれども、一人でも多くの方お越しいただきたいですし、私かねてから町なか観光ということで、町なかをどんどん歩いていただくような、二次交通も含めて、コロナでお披露目できてないんですが、二次交通なんかも新しく組みたいということで、報道関係者にもPRしたかったんですが、今こんな状況なもんですから、できませんけれども、そういった町なかも潤うような観光をしていきたいと思ってます。コロナ対策についても、そういったことも視野に入れながら、また今度御審議いただきますけども、審議いただければというふうには考えてございます。

以上です。

○副議長（左近 誠君） 2番東君。

○2番（東 信介君） 追加で補正が出るということで、期待しているんですけど、事前審査になるんで、その辺は触れんと。ぜひ町なかで、言われるとおり、しっかりと町なかの中に。いつも思ってるんですよ。よく町を歩いたら、ああ、観光客とかという、そういう話がいっぱい出てきて、やっぱり町なかにはそういう感じがないかなあ、そう感じてるかなあと思うんで、その辺ぜひよろしく願います。

次に、防災について。

先日、和歌山で災害時の衛生環境を考える会という研修会に参加させていただきました。簡単に言うと、避難所のトイレについてということで、東日本と熊本と神戸と。その講習会の中では、特定非営利法人というんですか、日本トイレ研究所という、こういうのがあって、これ国の諮問機関になってるんです。災害時のトイレばかり考えてるんやというて、講師の先生が言われてました。そのいろいろ数字の中を見まして、今回は、町内には中核避難所ですか、1次、2次の2次避難所というのが数多くあると思うんですけど、勝浦小学校に特化して、トイレに特化して質疑したいと思うんですけど、発災時に勝浦小学校へ何人の避難者が来るのかなあと思って。これ指定区別の人口で見たら、一時的に一番最初に避難されるのは1区と3区と4区で多分600人ぐらいと。津波警報が出て、6時間後ぐらいに注意報になって、12時間後ぐらいには多分3,000人ぐらいになってくると思う。勝浦小学校のキャパは2,014人て書かれてるんですけど、もうそれはしょうがないことやと思うんですけど。その中で、トイレで、教育委員会でもお聞きしたんですけど、勝浦小学校というのは貯水タンクって何トンあるんだったら、水道直圧ですよ言うて。勝浦の防災計画の中では、被害想定は町内全域断水やということ。勝浦小学校のトイレは一つも使えんということになる。区別で考えたら3,000人、多分那智湾と勝浦港に面した地域で、浸水地域で区別の人口を足してみたら六千何百人。これ那智中と勝浦小学校に割ったら大体3,000人。距離から考えたら、勝浦のほうがちょっと多いかな。那智中のほうがちょっと少なくても3,000人ぐらい。那智中は50トンぐらいの水があるんですけど、多分3,000人の避難者やったら、トイレ使ったら1日でなくなっていくと思う。こういう国の諮問機関でやられてることは、はなからトイレを使わない、トイレの上に携帯トイレを置く、そういう形にするのが一番いいんですというような形で説明されてます。実際、担当者とお話しさせていただいて、町の、これ携帯トイレは数足りんのちゃうん言うたら、こういう数字を出したら、そうですねということでお話あったんですけど。

総務課長さんに聞きます。今、勝浦小学校、防災倉庫もあるんですけど、災害時のトイレに関して、どのくらい持たれてあるんか、その辺だけ。

○副議長（左近 誠君） 総務課長塩崎君。

○総務課長（塩崎圭祐君） 非常用簡易トイレについてでございます。

現在、町内16カ所の避難所、緊急避難場所に33基を配置してございます。トイレセットにつきましては、1セットにつきポータブルトイレ、それから簡易テント、そしてトイレ処理剤が200となっております。勝浦小学校につきましては2セットで、防災倉庫には4セット配備しているところでございます。

以上でございます。

○副議長（左近 誠君） 2番東君。

○2番（東 信介君） こういう国から出た、総務省から出た、内閣府から出たやつとかいろいろ資料あるんですけど、それをもとに計算したら1万個ぐらい、1日で3,000人以上避難したら1万個ぐらいは、そこまで全てそろえよということじゃないですけど、トイレの回数から掛けたらそういうふうになっていくみたいなんですよね。だから、これは勝浦小学校だけの話なん

で、これ中核避難所いっぱいあるんで、宇久井も宇久井中学校と下里小・中ですか、那智中と。完全に行き渡るまではあれですけど、必要な数というのは用意していただきたいんですけど、その辺はいかがですかね。

○副議長（左近 誠君） 総務課長塩崎君。

○総務課長（塩崎圭祐君） 私自身、議員さんが出られた会議の資料を住民課長より拝見させていただいたところでございます。同じくトイレの重要性というところを再認識したところでございます。

本町では、一時的に、まず命を守る施策といたしまして、津波避難タワー、避難路等の整備というのを中心に今まで行ってきたところでございます。その辺で、次のステップとして第2次的なところへ移行を進めていく必要もあろうかというふうに考えてございます。今回、トイレについて、議員おっしゃいますとおり、その必要性について再確認、再認識した上で、その配備につきまして、現在1年につき4セットというところで配備を進めているところでございますが、その辺について、もっとふやすような形で配備を進めていくようなことを検討させていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

○副議長（左近 誠君） 2番東君。

○2番（東 信介君） 簡易トイレって大きな箱形のやつ、あるやないですか。別にそれを用意してくれということやないんですよ。今、各学校にある、水の出やん使えんトイレですけど、それに携帯トイレをかぶせて使うという。だから、そんなに金額的には、多分200セットでワンセットやと思うんですけど、金額的にはすごいしれてると思うんですよ。災害時の後、3週間までは避難所で一番必要なもんというのはトイレ、その次は毛布とか下着になってくるんですよ。その次は医療品。だから、もう3週間はトイレが絶対必要やということなんです。その辺をちゃんとしっかりと資料に目を通していただいて整備していただきたいと思います。これは、答弁結構です、よろしくお願いたします。

それで次に、危機管理について。

何人か一般質問されてましたけど、私の知ってる公共の事業所ですか、そういうところは、ちょっと医療関係もあるんで、トップダウンで危機管理について指示が出てるそうです。これプライベートのことまで入り込んで、プライベートでというたら、仕事以外でも、人の多く集まる場所は避けなさい、スーパーなどの買い物のときは人の多い時間を避けて時間差で行きなさいとか、そういう指示が出てるそうです。ああ、そのとおりのやなあと思うんですけど。

役場の職員さんというのは、平時のときは別に、町民から結構文句ばかり言われると思うんですけど、有事の際は物すごく頼りにされると思うんですよね。どっかの職員さんが一人コロナウイルスに感染されて、その持ち場が全部濃厚接触者と2週間の自宅待機とかで全く機能せんということが出てきてますよね、もう。うち、総務課の職員さん誰か一人かかったら、もう総務課は三日、四日機能停止ですからね。その辺、職員さん一人一人危機意識持って対応していただきたいなと思うんですけど、その辺はいかがですか。

○副議長（左近 誠君） 総務課長塩崎君。

○総務課長（塩崎圭祐君） 職員の危機意識ということでございます。

今回につきましては、2月4日に、万一に備え、マニュアル等の確認ということで注意喚起をいたしてございます。その後、2月17日、県内において感染者が確認された際におきましては、手洗いやせきエチケットなどの感染症対策をしてくださいというようなことで、ポータルサイトのほうで通知したところでございます。

以上でございます。

○副議長（左近 誠君） 2番東君。

○2番（東 信介君） それはきのうもお聞きしましたが、そうではなしに、職員さん個人。それから、トップダウンでこういう指示出すというのはなかなか難しいことやと思うんですけど、自分が感染したら役場はどうなるということ、もっと危機感持って対応していただきたいと思うんですよ。だから、そういう指示を出せというのは難しいんかわからんですけど、もっともっと一人一人が本当に危機感持って、ああ、これは行かなくてもええこととせんでもええことということを自分の中で、もし感染した場合、役場がどうなるかということを考えて対応していただきたいんですけど、そういう指示というのは出しにくいとは思うんですけど、その辺は町長いかがですか。

○副議長（左近 誠君） 町長堀君。

○町長（堀 順一郎君） 今回の新型コロナウイルスに関しましては、私が指示を出すまでもなく、皆さん職員一人一人が罹患してはいけないという、そんな気持ちをお持ちだったと思います。いろんな会議にしても、これはもうすぐにやめようとか対応しておりましたし、窓口においてもアルコール消毒液をすぐに用意したりというようなことで、プライベートも含めて、十分職員は理解を、理解というか、危機管理を持っていったと思います。そういう意味では、今のところ罹患者が出ていない、それが結果ではないかなと考えてございます。

以上です。

○副議長（左近 誠君） 2番東君。

○2番（東 信介君） 業務的に出張とかもあると思うんですよ。行かなきゃだめなやつも。例えば電車で行くところを、もうこれは1人ふやして車で行きなさいよとか、そういうことも考えていただきたいなと思って。今もうされてるみたいですね。この間も、東京も電車で行かんと車で行かれたみたいなの、お聞きしたんで。その辺を徹底していただきたいんですけど、その辺どうですか。

○副議長（左近 誠君） 総務課長塩崎君。

○総務課長（塩崎圭祐君） 職員の意識づけ、心意気というんでしょうか、そういうような部分であらうかというふうに思います。那智勝浦町職員であるということ、地方公務員であること、当然でございますが、その辺の再確認、再認識ということで、モラル、やる気というようなことでございます。これを機会に、今回気を引き締める意味で注意喚起等を行っていきたいというふうに思います。

以上でございます。

○副議長（左近 誠君） 2番東君。

○2番（東 信介君） よろしくお願ひします。

これで私の一般質問を終わります。

○副議長（左近 誠君） 2番東議員の一般質問を終結します。

以上をもって本定例会に通告されました一般質問は全部終了いたしましたので、これをもって一般質問を終結いたします。

以上で本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれで散会します。

~~~~~ ○ ~~~~~

9時52分 散会